

くわんれい
濱田

宮崎みなとまつり
会場：宮崎港
5月5日(祝) 出店
開催時間/10:00~20:30

有限会社 浜田水産
宮崎県延岡市1-2 TEL.0985-32-7324
http://www.hamadasuisan.com

きょうの紙面

- 2 ドローン民間活用し規制へ
- 2 ネパールA I I B支援要請
- 5 大都市境界地区整備進まず
- 20 みやざき犬売上額12億円超
- 14 15 16 17 18 すーぱーワイド
- 15 (児湯・西都)子ども多彩催しに歓声

県内の
経済・企業
ニュースを
ネット配信中

みやびズ

27.5.5 宮日

気温の上昇とともに稚アユの遡上(そじょう)が活発化している。延岡市を流れる五ヶ瀬川でも4日、銀りんを輝かせて勢いよく跳びはねる姿が見られた。

アユは秋に川の下流でふ化した後、海に下り、春になると体長8〜10センチに成長して川を上る。遡上は水温が上がる晴れた日の午後によく見られ、同市下三輪町・岩熊井堰

稚アユお帰り

(いせき)の魚道では、稚アユが小さな体を躍らせ上流を目指した。稚アユを捕食するアオサギやダイサギなどの野鳥を写真に収めようとした。

五ヶ瀬川、遡上ピーク

と訪れていた同市中島町の写真家、田崎洋さん(79)は「気温が上がって遡上するアユが増えたのはいいが、暑過ぎて大変だった」と語る。

と額の汗をぬぐった。宮崎地方気象台によると、高気圧に覆われた県内は同日、宮崎市で28・1度、美郷町神門で28・5度とそれぞれ今年の最高気温を記録。17観測地点中12カ所が25度以上の夏日となり、5月下旬〜6月下旬並みの暑さだった。5日は4日より最高気温が少し下がるが、晴れる見込みという。



五ヶ瀬川の岩熊井堰を勢いよく跳びはね、上流を目指す稚アユ。4日午後4時、延岡市下三輪町